公告 (個別事項)

下記のとおり一般競争入札(以下「入札」という。)を行いますので、高知県契約規則(昭和39年高知県規則第12号)第7条の規定により公告します。

なお、各入札案件に共通する入札参加資格及び入札参加の方法等は、別に共通事項として示すものとし、この個別事項と共通事項において重複して定められた事項がある場合は、この個別事項に記載する事項を優先します。

令和6年5月9日

高知県知事

記

第1 入札に付する事項

1	工事名 (工事番号)	野根海岸 高潮対策工事 (河高潮第902-1号)		
2	工事場所	高知県安芸郡東洋町野根		
3	工事の概要	高知県安芸郡東洋町野根地内の野根海岸における海岸工事 6号離岸堤 L=23.0m 消波ブロック60t型 据付N=107個 被覆ブロック4t型 製作N=81個 据付N=297個		
4	工事日数 (完成期限)	260 日 (余裕期間30日を含む。)		
5	予定価格	事後公表		
6	審査方式	事後審査方式 入札参加資格の審査は、開札(再度入札の開札を含む。)後、入札保 留を行い、落札候補者に必要な追加書類の提出を求め、当該落札候補者 についてのみ行う。		
7	落札方式	施工体制確認型総合評価方式(企業評価型) 事業者及び配置予定技術者の技術評価を行い、価格以外の要素と価格 を総合的に評価して落札者を決定する。		
8	入札手続	高知県電子入札システムによる。		
9	低入札価格調査 ・最低制限価格	低入札価格調査制度を適用し、調査基準価格を設定する。事後公表。		

第2 入札参加資格

この工事の入札に参加できる者は、入札の公告(共通事項)(以下「共通事項」という。)で定めるもののほか、下表に定める要件をすべて満たす者であること。

1 令和6年度高知県建設工事	建設工事の種類	土木一式工事
競争入札参加 資格の要件	等級	A等級 又は B等級の者

指定しない。ただし、下請契約の請負代金の額の合計額が4,500万円(建築一式 2 特定建設業許 工事にあっては、7,000万円)以上となる場合には、土木一式工事に関し、特定建 設業許可(建設業法(昭和24年法律第100号)第3条第1項第2号)を受けている 可の要件 者であること。 次のいずれかの要件を満たす者 1 令和6年度高知県建設工事競争入札参加資格決定通知書における土木一式 工事の格付けがA等級の者であって、高知県内に建設業法第3条第1項に規 定する営業所のうち主たる営業所(以下「主たる営業所」という。)を置く 者。 2 令和6年度高知県建設工事競争入札参加資格決定通知書における土木一式 3 営業所の拠点 工事の格付けがB等級の者であって、高知県行政組織規則(平成15年高知県 規則第43号)に規定する安芸土木事務所の所管区域のうち室戸事務所管内 に、主たる営業所を置く者。なお、令和6年度建設工事競争入札参加希望区 域登録申請(以下「希望区域登録申請」という。)をした者にあっては、 「主たる営業所」を「希望区域登録申請において指定した営業所」と読み替 える。 次の要件を一契約ですべて満たす工事の施工実績を有する者。 平成21年度以降に、元請として完成・引渡しが完了したものであること。 工事の発注者が国又は地方公共団体等であること。 3 受注形態が単体又は出資比率が20%以上の共同企業体であること。 4 施工実績 4 船舶使用による海上作業を伴う次のいずれかの工事であること。 ①外郭施設(堤防・防潮堤・水門・突堤・防砂堤・導流堤など) ②岸壁又は物揚場 ③消波ブロックの据付(ブロック1個あたりの重量は問わない。) 5 施工場所が高知県内であること。 次の要件を満たす主任技術者又は、監理技術者を当該工事に配置できるこ 5 配置予定技術 者 と。なお、請負代金が4,000万円(建築一式工事にあっては8,000万円)以上と なる場合の主任技術者等は専任で配置すること。また、建設業法施行令(昭和 31年政令第273号) 第27条第2項の規定の適用の可否について質疑がある場合 は、共通事項に示す質疑の方法に準じて申請書等の提出期限までに問い合わせ ること。 1 主任技術者は、1級土木施工管理技士、2級土木施工管理技士又はこれらと 同等以上の資格を有する者であること。監理技術者にあっては、1級土木施工 管理技士又はこれと同等以上の資格を有し、かつ、土木一式工事における監理 技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者であること。 2 この公告の日以前に申請者に採用され、申請時において引き続き3か月以 資格等 上雇用されている者であること。 3 いわゆる経営業務の管理責任者(建設業法(昭和24年法律第100号)第7条第 1号若しくは第15条第1号に規定されるもの)又は営業所の専任技術者(第7 条第2号若しくは第15条第2号に規定されるもの)でないこと(いずれの場合 も、許可業種は問わない)。 従事実績 「4. 施工実績」に掲げる工事への従事実績は問わない。

第3 入札日程等に関する事項

1 申請書等 の様式取 得・提出 提出期間 開中 (閉庁日を除く日の午前8時から午後8時まで)。ただし、持参は郵送による提出の場合の提出期限は、最終日の午後5時とする。 提出方法 共通事項で定める。 入札情報公開システム又は高知県ホームページに掲載する。入札情報システム https://ppi.pref.kochi.lg.jp/JuchuWeb/又は安芸土木事務所ホームページ
得・提出 は郵送による提出の場合の提出期限は、最終日の午後5時とする。 提出方法 共通事項で定める。
 提出方法 共通事項で定める。 入札情報公開システム又は高知県ホームページに掲載する。 入札情報システム 掲載場所 https://ppi.pref.kochi.lg.jp/JuchuWeb/ 又は安芸土木事務所ホームページ
入札情報公開システム又は高知県ホームページに掲載する。入札情報システム掲載場所https://ppi.pref.kochi.lg.jp/JuchuWeb/ 又は安芸土木事務所ホームページ
入札情報システム 掲載場所 https://ppi.pref.kochi.lg.jp/JuchuWeb/ 又は安芸土木事務所ホームページ
掲載場所 https://ppi.pref.kochi.lg.jp/JuchuWeb/ 又は安芸土木事務所ホームページ
又は安芸土木事務所ホームページ
https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/170103/
2 設計図書の閲覧方法 入札情報システム
https://ppi.pref.kochi.lg.jp/JuchuWeb/
下記メールアドレスあて送付すること。 提 出 先
3 設計図書 ec170103@ken. pref. kochi. lg. jp
等の質疑 提 出 期 限 令和6年5月17日(金)午後5時
回答期限 令和6年5月23日(木)
令和6年5月23日(木)から令和6年5月29日(水)までの電子力
システム稼働時間中(閉庁日を除く午前8時から午後8時まで)。ただ 4 入札書の 入札期間 コルー・フェー・フェー・フェー・フェー・フェー・フェー・フェー・フェー・フェー・フェ
提出 なお、入札期間初日においては、質疑回答後入札開始とする。
入札方法 共通事項で定める。
日 時 令和6年5月30日(木)午前9時15分から 5 開札予定
場 所 高知県安芸土木事務所(※第6)
6 追加書類 提 出 先 高知県安芸土木事務所(※第6) へ持参又は郵送すること。
(落札候補
提出期限 の午後5時(いずれの日も閉庁日を除く)。

第4 総合評価の評価基準等

総合評価における同種・類似工事の要件及び評価項目・評価基準・配点は、下表のとおりとする。

(1) 同種・類似工事の要件(一契約ですべての要件を満たすこと。)

評価区分	要件		
企業の評価	1 実績については平成26年度以降に、成績評定については令和3年度以降		
	に元請として完成・引渡しが完了したものであること。		
	2 工事の発注者が国又は地方公共団体等であること。		
	3 受注形態が単体又は出資比率が20%以上の共同企業体であること。		
	4 船舶使用による海上作業を伴う次のいずれかの工事であること。 ①外郭施設(堤防・防潮堤・水門・突堤・防砂堤・導流堤など) ②岸壁又は物揚場 ③消波ブロックの据付(ブロック1個あたりの重量は問わない。) 5 施工場所が高知県内であること。		

配置予定技術者の 評価

- 1 企業の評価に掲げる要件を満たす工事への従事経験を有する者であること。ただし、受注形態と施工場所は問わない。
- 2 従事役職は現場代理人、監理技術者、特例監理技術者、監理技術者補 佐、主任技術者又は低入札価格調査制度に基づく工事施工において発注者 から監理技術者若しくは主任技術者以外で専任配置を義務づけられた技術 者に限る。
- 3 従事期間が工期の半分を超えていない場合は、評価対象としない。ただ し、従事状況によっては、工事の着手日及び合格通知日等により判断する 場合がある。

(2) 企業の評価

評価項目	評価基準	配点	
技術力評価			
同種・類似工事の実績 の有無	実績有	10点	
(平成26年度以降)			
※評価対象から除外する 工事について、(5)を参 照。	実績・無	0点	
同種・類似工事の成績	成績評定点 80点以上	15点	
評定	" 78点以上 80点未満	12.5点	
(令和3年度以降)	" 76点以上 78点未満	10点	
※高知県(県警本部は除	" 74点以上 76点未満	7. 5点	
く。) 発注工事の成績評定	" 72点以上 74点未満	5点	
点。ただし、高知県発注工	" 70点以上 72点未満	2. 5点	
事の実績がない場合は、国	ッ 70点未満	0点	
土交通省発注工事の成績			
評定点とする。			
※評価対象から除外する 工事について、(5)を参 照。			
直近の成績評定の	成績評定点 65点未満 無	0点	
最低点	" 有	- 5点	
(前年度実績)			
※高知県発注工事に限る。			
優良工事表彰の有無	高知県表彰(知事賞又は優良賞)を受賞		
(令和3年度以降、業			
種:土木一式工事)	 他機関表彰受賞又は高知県表彰(所長賞)を受賞		
※評価対象から除外する		2. 5点	
工事について、(5)を参 照。	表彰無	0点	
ISOマネジメントシス	ISO 9000シリーズと併せてISO 14000シリーズ又はエコアクシ	5点	
テム審査登録等の	ョン21 を取得	0 m	
	ISO 9000シリーズ、ISO 14000シリーズ又はエコアクション21 のいずれかを取得	2. 5点	

	ISO認証及びエコアクション認証 未取得	0点
地域内拠点の有無	当該工事と同一市町村内(東洋町)に主たる営業所 有	10 点
	当該工事と同一市町村内(東洋町)に建設業法第3条第1項に	
	規定する営業所のうち従たる営業所 有	5 点
	当該工事と同一市町村内(東洋町)に建設業法第3条第1項に	0 =
	規定する営業所無	0 点
若手技術者・女性技術	41歳未満又は女性の主任(監理)技術者(特例監理技術者及び	E 上
者の配置	監理技術者補佐を含む。)又は現場代理人の配置 有	5点
	35 歳未満又は女性の担当技術者の配置 有	2.5 点
	若手技術者・女性技術者の配置 無	0 点
地域ボランティアの	地域点数 20点以上相当	10点
有無	〃 15点以上 20点未満相当	8点
(前年度実績)	〃 10点以上 15点未満相当	6 点
室戸事務所管内での実績	″ 5点以上 10点未満相当	4 点
に限る。	" 1点以上 5点未満相当	2 点
	ボランティア活動 無	0 点
重機保有の有無	経営事項審査で評価対象の建設機械(種類)を10台以上保有	10点
(自社保有又は長期	リ 9 台保有	9 点
(1年以上)リースに	11 8 台保有	8点
よるもの)	7 台保有	7点
	1 6 台保有	6点
	5 台保有	5 点
	4 台保有	4点
	3 台保有	3点
	2 台保有	2点
	1 台保有	1点
	経営事項審査で評価対象の建設機械(種類)の保有 無	0点
消防団への加入又は		10点
消防団協力事業所表	ル 無	0点
示制度の認定の状況		
(前年度) ※東洋町(一部事務組		
合等)の消防団への		
加入又は工事現場所		
在地に係る市町村若しくは一部事務組合		
等の認定に限る。		
BCPの認定の状況	BCPの認定 有	10点
	" 無	0点
独占禁止法違反等に	指名停止 無	0点
よる指名停止の状況	" 有	-10点
(公告日以前1年間)		
合計	90点(合計点を6点に換算。)	

(3) 配置予定技術者の評価

評価項目	評価基準	配点
技術力評価		
同種・類似工事の従事	実績有	10点
実績の有無 (平成26年度以降)	 実績 無	0点
同種・類似工事の成績	成績評定点 80点以上	15点
評定	" 78点以上 80点未満	12.5点
(令和3年度以降)	" 76点以上 78点未満	10点
※高知県(県警本部は除	" 74点以上 76点未満	7. 5点
く。) 発注工事の成績評定	" 72点以上 74点未満	5 点
点。ただし、高知県発注工		2. 5点
事の実績がない場合は、国		0 点
土交通省発注工事の成績		
評定点とする。		
優良工事表彰の有無	高知県表彰(知事賞又は優良賞)を受賞	5 点
(令和3年度以降、	他機関表彰受賞又は高知県表彰(所長賞)を受賞	2.5点
業種:土木一式工事)	表彰 無	0 点
継続学習制度(CP	推奨単位の10分の8以上	10点
D) への取組	″ 10分の5以上 10分の8未満	7. 5点
(取得単位数、有効期	" 10分の3以上 10分の5未満	5 点
間:過去5年間)	″ 10分の1以上 10分の3未満	2.5点
•(一社)全国土木施工管	n 10分の1未満	0点
理技士会連合会		
•(公社) 日本技術士会		
•(公社) 日本建築士会連		
合会		
•(一財)建設業振興基金		
•建築設備士関係団体CPD		
協議会		
・(公社) 土木学会		
配置予定技術者の	土木一式工事に関する1級国家資格を有する	10点
資格	上記以外の資格を有する	0点
合計	50点(合計点を4点に換算。)	

(4) 施工体制の評価

評価項目	評価基準	配点	その他
品質確保の実効性	良	5点(12.5点)	・開札後、低入札に該当した者に低入札
	可	2点(5点)	調査資料の提出を別途求めて評価す
	不可	0点	る。
施工体制確保の確実	良	5点(12.5点)	・低入札に該当しなかった者にあって
性	可	2点(5点)	は、資料提出は求めず、「良」(満点)と
	不可	0 点	する。

合計	10点(25点)
□ п	【注意】施工計画型では()内のとおりとする。

(5) 総合評価の評価対象から除外する工事

高知県内において発注された公共工事のうち、平成24年10月17日以降次の各号のいずれかに該当することとなった工事については、総合評価の企業の評価項目中、「同種・類似工事の実績の有無」、「同種・類似工事の成績評定」及び「優良工事表彰の有無」において、評価の対象としないものとする。

- ① 受注者(受注者が共同企業体であるときは、代表構成員又はその他の構成員。以下同じ。)が、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律(昭和22年法律第54号。以下「独占禁止法」という。)第3条の規定に違反する行為により課徴金納付命令(独占禁止法第7条の2第1項の規定によるもの)を受けた場合において、その対象となった工事
- ② 受注者が独占禁止法第3条の規定に違反する行為により課徴金算定対象として認定されたが、当該行為について課徴金の納付を命じない旨の通知(独占禁止法第7条の2第18項の規定によるもの)を受けた場合において、その対象となった工事
- ③ 受注者が独占禁止法第3条の規定に違反する行為により公正取引委員会の排除措置命令において違反行為者として認定されたが、法人の解散等により課徴金納付命令等の名宛人となっていない場合において、公正取引委員会が発した文書を受けて違反工事が特定されたことにより不法行為に基づく損害賠償請求の対象となった工事
- ④ 受注者(受注者が共同企業体であるときは、代表構成員又はその他の構成員。法人にあっては、その役員又は使用人を含む。)が、刑法(明治40年法律第45号)第96条の6の容疑により逮捕され若しくは逮捕を経ないで公訴を提起された場合又は独占禁止法第89条第1項若しくは第95条第1項第1号に規定する刑について公訴を提起された場合において、その対象となった工事

第5 提出書類一覧

区分	様式・資料		
申請書等	1 一般競争入札参加資格確認申請書(様式1)		
(申請時に電子	2 企業の評価項目一覧表 (様式5)		
ファイルで添付	3 配置予定技術者の評価項目一覧表 (様式6)		
する書類)			
入札時に			
電子ファイルで	工事費內訳書		
添付する書類			
	1 同種工事の施工実績(様式2)及びその挙証資料		
	2 配置予定技術者名簿(様式3) 及びその挙証資料		
追加書類	3 配置予定技術者の重複について(様式4)(※該当する場合のみ。)		
(落札候補者が	4 令和6年度高知県建設工事競争入札参加資格決定通知書の写し		
提出する書類)	5 特定建設業許可の写し(※該当する場合のみ。)		
※持参又は郵送	6 総合評価方式関係資料 表紙		
	7 様式5の挙証資料(様式7-1を含む。)	ĺ	
	8 様式6の挙証資料(様式8を含む。)		

第6 入札実施機関(問い合わせ先)

〒784-0001 高知県安芸市矢ノ丸1丁目4-36 高知県安芸総合庁舎3階 高知県安芸土木事務所 総務課 契約担当

電話 0887-34-3135

FAX 0887-34-0313

E-mail ec170103@ken.pref.kochi.lg.jp

第7 その他事項

- 1 この工事は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(平成12年法律第104号)」に基づき分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事であること。
- 2 低入札価格調査における失格基準

低入札価格調査の失格調査において、低入札者の工事費内訳書の記載内容が次の失格基準のいずれかを下回るときは、失格とする。

- (1) 直接工事費 設計金額の85%
- (2) 共通仮設費 設計金額の80%
- (3) 現場管理費 設計金額の90%
- (4) 一般管理費等 設計金額の68%
- 3 質疑書等に基づき設計内容の軽微な変更を行うこともあるので、質疑に対する回答書等を踏ま えて入札すること。
- 4 この工事に係る設計業務の受託者又は当該受託者と資本若しくは人事面において関連がある建 設事業者でないこと。
- 5 この入札による落札者は、独占禁止法の遵守に係る誓約書の特例を定める要領(平成23年12月15日付け23高建管第799号副知事通知)第2の規定により、契約書の案の提出時に、契約担当機関あてに同要領別記様式による誓約書を提出すること。落札者が同様式による誓約書を提出しない場合は、同要領第3の規定により、契約を辞退したものとして取り扱うものとする。
- 6 余裕期間の設定について

本工事は、円滑な工事施工体制の整備の観点から、契約締結日から工事開始日までの間に余裕期間を設定する。

(1) 余裕期間は30日とする。受注者は、発注者が設定した全体工期(余裕期間と標準工期等をあわせた期間)の範囲で、工事の始期及び終期を選択することができる。

※設計書記載の工事日数又は完成期限には余裕期間を含む。

- (2) 余裕期間は、準備工事(現場事務所の建設及び測量の開始など)以前の労働力確保等の調整 準備段階であり、監理技術者等の配置及び専任を要しない。
- (3) 契約締結日から工事開始日までの期間は、測量、資材の搬入及び仮設物の設置等の準備工事を含め、工事に着手してはならない。
- (4) その他取り扱いについては、「高知県余裕期間設定工事に係る事務取扱要領」の規定による。 (土木政策課HP)

https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/170201/2016100600208.html

- 7 この工事は、ICT活用工事 (ICTブロック据付工)「施工者希望型」の対象工事である。
- 8 本工事は、「週休2日制モデル工事」実施要領における「2日制モデル工事」の対象工事である。
- 9 本工事において、建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者(以下、「特例監理技術者」という。)の配置を行う場合の要件については、特記仕様書の規定によるものとする。落札決定後、配置予定の特例監理技術者が同要件を満たさないことが判明したときは、契約を締結しない場合がある。